学びの高嶺

校訓　　感謝・努力・友愛

北九州市立高見中学校
学校だより　第８号
令和７年９月２日（火）
校長　若松　英昭

自ら判断・行動し、楽しく挑戦！

八幡大空襲について

今年は終戦80年になります。1945（昭和20）年8月8日に、この八幡の地で大空襲がありました。この大空襲で2500人を超す死傷者がでました。そのようなことがこの八幡の地で起こったことを知ることはとても重要なことであり、「平和」の尊さを継承していくことが大切です。

毎年8月8日に、八幡大空襲戦災殉職者慰霊祭が中学校近くの谷口霊園 戦災殉難者之碑前で行われています。

今年も高見中学校から3名の生徒が参加し、T さんが中学生を代表して追悼作文を披露してくれました。

たくさんの参列者の前で慰霊の追悼作文を披露した高野さん

１ 学期の終わりに、学校で沖縄戦と原子爆弾投下に関する平和学習を受けました。その学びを深めたいと思い、「八幡大空襲」についても、学校の資料で調べてみました。資料を読み終えて感じたことは、私たちが こんにち、当たり前のように食事をとり、 夜は安心して眠り、学校で友人と遊べるのは、日本の平和があるからだ ということです。しかし、その平和は決して「当たり前」のものではない と気づきました。

八幡大空襲が起きる前、高見中学校の 周辺地域は、工場や炭鉱で栄え、多くの人々が働き、生活を営んでいたそうです。しかし、1945 年8月8日、空からの爆撃を受け、大勢の方が命を落とし、多くの建物が破壊され、町は壊滅的な被害に見舞われました。それから約 80 年の月日が経ち、時の流れの速さを感じる一方で、戦争の記憶が薄れつつあることに危機感を抱かずにはいられません。犠牲となった罪のない人々のことを思うと、私たちが日々の生活の中で平和の価値を大切にし、未来へと繋いでいかなければならないと痛感しています。

現在もなお、世界では、戦争が行われている国や地域があり、その悲惨な様子がメディアを通じて報じられています。一刻も早く戦争のない世界が訪れることを願い、この作文を、八幡大空襲戦災殉難者慰霊祭への追悼の言葉とさせていただきます。

令和7年8月8日　高見中学校　T

慰霊祭が終わり、後日、主催の会長さんから、「毎年、中学生の作文の発表が大変素晴らしく、ありがたいです」という感謝の言葉をいただきました。また、参列された方からも「中学生が参加してくれてうれしいですという言葉をいただいています」ということでした。

慰霊祭に参加した K さん、M さんにも、八幡大空襲戦災殉職者慰霊祭に参加した感想を書いてもらっていますので、紹介します。

慰霊祭に参加して

2−2 K

私は八幡大空襲慰霊祭に参加し、戦争の悲惨さと平和の尊さを改めて実感しました。資料を見て、空襲により罪のない多くの人の命が失われた歴史を忘れないことが大切だと思いました。また、谷口霊園や各地に慰霊碑があることで、戦争の記憶が風化せず、いまを生きる私たちにもその悲惨さが伝わっていると考えました。私たちが平和に生きていられるのは、過去の教訓を忘れずに大勢の人が語り継いできたからこそだと思います。だから私は、毎年この時期になると改めて平和の尊さについて考えてみます。

参加した小森さん、髙野さん、森田さん

慰霊祭に参加して

2−2 M

私は、慰霊祭に参加して当たり前だと思って過ごしていた日々のありがたさを知ることができました。空襲により一瞬で街が破壊され、多くの尊い命が奪われたという事実に、とても胸が痛みました。多くの命が失われた歴史を思うと、今の平和がどれほど素晴らしいものか、深く感じます。そして、今の私たちにできることは何か考えた時、慰霊祭の中で聞いた「大切なのは、今の若い人たちがきちんと次の世代へ伝えていくこと」という言葉が心に響きました。戦争の悲惨さを風化させることなく、語り継いでいくことこそが、未来の平和を守ることにもつながると思います。今ある平和な日常や、命に感謝しながら生きていきたいと改めて思いました。

当時の様子を資料等を提示しながら、詳しく説明してくださいました。

八幡大空襲に関連して　＜合唱部＞

同じ8月8日には、八幡東区平和学習事業「八幡大空襲から80年～対話でつなぐ平和」が響ホールで開催されました。高見中学校の合唱部にアトラクションへの出演依頼があり、合唱を披露しています。この会に参加された方が、高見市民センターに来られた際に、「高見中学校の合唱部の合唱に感動しました。とても素晴らしく、よかったです」と言われていたそうです。

また、8月31日には、令和7年度少年の主張福岡県大会にも合唱部が招待され、アトラクションの時間に合唱を披露し、大会を盛り上げました。アトラクションでは、本校合唱部と則松中学校の箏曲部の演奏がありました。主催者の方から「両部の素晴らしい演奏と合唱に感激しました」と、言葉をいただき、校長としてとてもうれしくなりました。

（写真：少年の主張福岡県大会　ウェルとばた中ホールにて）